

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

壱岐ウルトラマラソンによる交流人口拡大事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

長崎県壱岐市

3 地域再生計画の区域

長崎県壱岐市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は1955年の51,765人をピークに減少しており、29,377人（2010年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には2010年比で総人口が約74%となる見込である。人口の減少は出生数の減少（自然減）や、本市の基幹産業である第一次産業の衰退に伴い、雇用の機会が減少したことで、若者が島外へ流出（社会減）したこと等が原因と考えられる。また、観光面について見てみると、観光客延数は近年横ばいであり、2017年度では39.6万人となっている。このように人口減少が進む中で、観光客数が横ばいのままという状況が続けば、島内イベントの規模の縮小や廃止等に繋がり、ひいては地域経済の衰退が懸念される。

このような状況・課題を抱える中でも、現在本市で開催している壱岐ウルトラマラソンは、毎年600名以上の島外ランナーから申し込みがあり、本市における地域資源の1つと言える。その大きな要因は2つあるが、1つ目が「おもてなし」、大会当日の早朝5時から夜7時までの島を上げての応援や私設エイド等が「暖かみを感じる」と毎年好評である。2つ目は「絶景」、本土ではなかなか目にすることができない絶景やコース上の観光地が非常に人気で、本大会に参加した大きな理由としてランナーから多くのコメントをいただいている。また、参加者143名を対象に実施した調査では約60%が「初めて参加」や「初めて壱岐に来た」ばかりであり、毎年本大会を通して初めて壱岐へ訪れた方に壱岐の自然景観、観光地、

食、島民の暖かさを体感いただき、壱岐市のファンの獲得に成功している（アンケート調査にて97.2%が「また壱岐に観光などで訪れたい」との回答）。

本大会の参加者(島外)については増加傾向にあり、大会当初（2016年）は575名であったが、2019年は629名となった。最も島外参加者数が多かったのは2018年大会であり、648名であった。また、本大会が2018年及び2019年のRUNNET（エントリーサイト）内のウルトラマラソン大会ランキングで2年連続全国第2位を獲得した。上位をキープしている本大会は今後も多くのランナーの目に留まり、本大会への参加者数及び壱岐市への新規来島者の増加に繋がり、交流人口（観光客）拡大が期待される。

島内イベントの規模の縮小や廃止及び地域経済の衰退の課題に対応するため、本市の地域資源である壱岐ウルトラマラソンをさらに充実化（前夜祭、参加賞やメダル等の各種製作物、給水所の食品等、救護体制や安全対策）及び延泊者を増やすための大会翌日ツアーを造成することで、大会参加者数の増加及びスポーツツーリズムを推進し、交流人口の拡大及び地域の活性化により活気のある誰でも住みやすいまちづくりを目指す。

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
壱岐ウルトラマラソンによる交流人口拡大事業	島外からの大会参加者 (累計) 50名増	629	679	基本目標1

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

壱岐ウルトラマラソンによる交流人口拡大事業

② 事業の内容

長引く景気低迷や交通アクセスの問題、海水浴ブームの衰退、旅行形態の変化等により、平成3年の年間観光客延数約76万人をピークに年々減少傾向にあり、近年は60万人を切った状態で推移している。この悪循環を打開し、国内外から人を呼び込むために、スポーツと観光を融合したスポーツツーリズム（ウルトラマラソン）をとおり、壱岐が誇る歴史（日本遺産）、文化、自然、パワースポット、グルメ等の多くの「しまの宝」を広くPRし、島外からの来島者の増加による交流人口の拡大や地域の活性化、そして地域の連帯感の醸成を図る。

また、寄附を契機として、現在不足している前夜祭や給水所の食品等の拡充や加賞やメダル等の各種製作物のクオリティ向上、救護体制や安全対策の向上に取り組む。

なお、本事業に要する経費は必要に応じて「壱岐市企業版ふるさと納税基金」に積み立てるものとする。

本事業は、第3次壱岐市総合計画の基本目標1「希望の仕事があり安心して働くことができ、起業もできる」の「1-5観光の振興」に位置づけられる事業であり、当該基本目標1のKPIである「観光客延数443,000人（令和6年）」の達成に寄与するものである。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

78,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を政策企画課で取りまとめて、産官学金労言の外部有識者で構成する「壱岐市まち・ひと・しごと創生会議」

において、具体的な施策毎の目標達成度等の効果検証を行い、結果報告をまとめる。結果を踏まえて必要に応じ、総合戦略や具体的な施策の組み換え等の見直しを図る。

検証結果については、市ホームページ等にて公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで